

(令和元年 8 月試験研究業務月報)

試験研究課題：ICT を活用した京都オリジナルのスマート生産技術の開発  
トウガラシ類等パイプハウスの環境制御技術の開発

研 究

## **万願寺トウガラシ生産に活用できる自動かん水装置を現地で実証**

万願寺トウガラシの生産では、小まめなかん水によって土壌水分を一定に保つことが重要です。しかし、実際には農家が1日に何度もかん水することは労力がかかるためにできていません。そこで、当センターでは、万願寺トウガラシ生産に利用できる低コストな自動かん水装置を開発しました。

この装置は1日に6回（6、8、10、12、14、16時）センサーで土の状態を判断し、乾いている時にはかん水を行う装置です。現地のビニルハウス内でこの装置を稼働させたところ、盛夏期でも土壌水分を一定に保つことができ、万願寺トウガラシは順調に生育しています。引き続き、自動かん水を行った場合の収量やかん水量の推移などを調査する予定です。



現地に設置した自動かん水装置



現地での生育状況（舞鶴市）



かん水量を自動で計測する装置（写真右側）

農 林 セ ン タ ー